



輝け！北っ子！

2学期実施予定の行事等の開催について ～ 方針 補足説明 ～

9日付で「令和2年度二本松北小学校行事等の今後の見通しについて（再通知）」として今後の北小の予定について通知させていただいたところです。お読みになって、皆さんはどんな感想をおもちでしょうか。内容は通知の通りなのですが、紙面の都合上、なかなか伝えきれない思いもあります。そこで、学校だよりを通して、少し補足をさせていただきたいと思います。

2学期以降の予定を立てるにあたっては、大変悩み、何度も変更しています。しかし、悩んだときには、「方針」に立ち返って考えてみることにしました。その方針とは、以下のものです。そしてその内容には「優先順位①→④」をつけています。

- ① 児童の命を守る（できるだけ感染リスクを下げる）
- ② 教科学習の進度・定着
- ③ 教育活動の継続（ねらい・必要性を考慮しながら「できる」方法を考える。）
- ④ 保護者への教育活動の公開・連携

① 児童の命を守る（できるだけ感染リスクを下げる）

なんといっても、「**子どもの『命』優先**」「**感染のリスクはできるだけ下げる**」ということが一番に考えました。**本当に実施して大丈夫か**ということです。実施するにあたっては

- ・ マスク 手洗い 換気 消毒 ソーシャルディスタンス 等 新しい生活様式の遵守
- ・ 児童のみでの活動中心に 保護者・外部との関わりは制限
- ・ 外部に出るの活動は要検討 公共交通機関の利用制限 等への配慮は欠かせないことを念頭に置きました。

② 教科学習の進度・定着

次に優先したのは、「**学校休業で遅れた教科学習を年度内で確実に行う**」ことでした。今後さらなる学校休業等も想定範囲内としながら、授業時数の確保をしっかりと行いながら、学習の進度と定着を図ることを大切にしたい考えました。

③ 教育活動の継続（ねらい・必要性を考慮しながら「できる」方法を考える。）

感染リスクを下げるためには、子ども同士が接触しない活動だけを行い、外部の人は完全シャットアウトすることが一番かもしれませんが、それでは集団での活動を主とする「学校」の存在意義が問われます。これまで行われてきた各種行事・活動については、できるだけ継続を意識しながらも「**ねらいの見直し・再確認**」を行い、コロナ禍の中での「**子どもにとっての必要性は・・・。別な方法での可能性は・・・。**」と柔軟性をもって考え実施の判断をすることにしました。

④ 保護者への教育活動の公開・連携

行事等実施にあたって、児童に対して実施すると決めた後に「**保護者への公開・連携が可能か**」について検討しました。保護者への学校公開の重要性は認識していますが、この状況下では大変申し訳ありませんが、優先順位は低いものと考えています。命優先の立場から、できる限り保護者等を**一度に多人数、学校に入れるのは避ける**という考えは変わりません。

また、「**学校はいつでもオープン**」という考えも変わっていません。個人的に「授業をみたい」という場合などは、遠慮なく学校にご連絡ください。さらに、子ども達の学校生活の様子については、これまで以上にHPや学校だより、学年だより等を通じて行っていきたいと考えています。保護者へ学校公開をするにあたっては、

- ・ 感染症対策の徹底（健康観察 行動履歴 検温 等）
- ・ 参加人数の制限（原則1家庭1名）
- ・ 児童との接触 原則禁止 児童と保護者行動エリアの分割
- ・ 一度に多人数（全保護者の1/3以上）が集まる機会や普通教室に50人以上の空間（児童含む）ができる機会（体育館・他の大きい教室・校庭は別）は原則不可 等

の基本原則を設定した上で、できれば月1回程度学校は学校と関わりのある活動を提供したいとは考えています。

このような方針・優先順位を設定したとは言え、行事等の検討にあたっては、「行きつ戻りつ」の繰り返しでした。何が「正解」か「不正解」かわからない状態であり、人によっていろいろな考え方もあります。それでも、この状況の中、できるだけ多くの人の「納得解」であるようにと真剣に考えたつもりではあります。ご理解いただければ幸いです。